

12月 ピッコロだよ!



寒さも本格的になってきて、今年も残す所、1ヶ月となります。子どもたちと今年の活動や出来事を振り返り、楽しい気持ちで新年を迎えられるよう、今月も元気に活動に取り組んでいきたいと思ひます。

【12月の活動】友だちに興味を持つ／お互いの共通点を見つける

月	火	水	木	金	土
2 相手のことを 知ろう	3 相手のことを 知ろう	4 相手のことを 知ろう	5 相手のことを 知ろう	6 相手のことを 知ろう	7 相手のことを 知ろう
9 共通点 を見つけよう	10 相手のことを 知ろう	11 運動	12 運動	13 相手のことを 知ろう	14 共通点 を見つけよう
16 共通点 を見つけよう	17 共通点 を見つけよう	18 共通点 を見つけよう	19 共通点 を見つけよう	20 共通点 を見つけよう	21 クッキング (ケーキ) ※エフロン、三角巾
23 クッキング (ケーキ) ※エフロン、三角巾	24 共通点 を見つけよう 避難訓練(防犯)	25 共通点 を見つけよう	26 共通点 を見つけよう	27 共通点 を見つけよう	28 休み (冬季休暇)
30 休み (冬季休暇)	31 休み (冬季休暇)	※12月24日(土)は活動内で避難訓練(地震)を行います。 ※12月28日(土)～1月3日(金)まで冬期休暇とさせていただきます。			

※公認心理師、理学療法士、言語聴覚士の来所日については、後日、玄関に掲示させていただきますので、ご確認ください。

専門職の来所日より、活動内容が変更になる場合があります。その際は、玄関に掲示させていただきます。

(今月の主な活動) 友だちに興味を持ち、相手のことを理解する／お互いの共通点を見つける

ねらい: 友だちの好きなことや苦手なこと等、相手の性格や考え方を知り、興味を持つ／友だちと自分の共通点を見つけ、信頼関係を気付く

☆自分や友だちと好きなことや苦手なこと等をワークシートに記入し、友だちのことを理解する機会を設けます。〈相手のことを知ろう〉

☆友だちとやりとりしながら、自分と相手の共通点を探し、より信頼関係を深めることができるようにします。〈共通点を見つけよう〉

★お知らせとお願い★

- 提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- 個別での引継ぎを希望される方は、職員へ事前にお伝えしていただけたら、日程を調整を行い、対応させていただきますので、お知らせください。
- 社会福祉法人 落穂会のホームページ(<http://www.asahigaokagakuen.jp/>)におたよりを掲載していますので、ご確認ください。実績記録表について、これまで請求書に同封していましたが、**当日にご署名を頂くシステムに変更致しました。**ご理解、ご協力の程、よろしくお願ひ致します。
- 活動風景の見学ご希望の際は、職員へご相談ください。ご希望を伺い、日程調整をさせていただきます。
- 登園時間は、平日16時20分まで、土曜日(午前)10時20分まで、(午後)13時50分までをお願いします。
- お迎えは、平日17時20分～18時の間、土曜日(午前)11時50分～12時10分の間、(午後)15時20分～15時40分の間をお願いします。また、お迎えの際は**引き継ぎ20分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。**

【キャンセル待ちについて】

- キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

【欠席連絡について】

- 平日は16時以降、土曜日(午前)当日9時30分以降、(午後)13時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。
- ※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。

【11月の振り返り】

〈丁寧なことばを使おう〉

相手の年齢や自分との関係性等に応じて、ことばの使い方が異なることを学び、「です」「ます」等の丁寧語や相手に分かりやすい伝え方を考え、実際に練習しました。

〈気持ちを切り替える方法を知ろう〉

「深呼吸」や「数章」等、気持ちを切り替える方法について学び、日常生活で実践できるようゲームの中で実践しました。また、学んだ方法が実践できる状況についても友だちと話し合いました。

【 学ぶ楽しさ 教える喜び 】

山田洋次監督(以後、山田監督と記す)といえは、渥美清さん主演の寅さんシリーズで「男はつらいよ」の映画監督として、あまりに有名です。平成12年私が、肢体不自由のある児童・生徒を対象にした東京都立光明特別支援学校(現在は、東京都立光明学園)に勤務していた時、山田監督より勤務先に、視察記念として「学ぶ楽しさ 教える喜び」というお言葉を色紙に書いていただきました。

山田監督は、当時「学校」シリーズの映画を製作して公開されていました。映画の中では、生徒たちと教師の人間味あふれる交流が描かれていました。そのシリーズについて、ある記事は、社会から、つまはじきされても、主人公がしっかり生きていく。その「生きる姿」から観客は「生きるとは」、「幸福とは」、「学ぶとは」を考えてほしいと、山田監督は願っているのでは・・と記してありました。

私は、色紙に記されている「学ぶ楽しさ」「教える喜び」の言葉の意味について、その後自分なりに考え、教職員と共に日々の教育実践に生かせるように努めました。

その考えは、児童・生徒たちが、社会に貢献する人材になるためには、基礎の力として知識・技能、思考する力そして、将来に向けて学び続ける態度や働く態度を育成することが大切です。学校における日々の授業は、児童・生徒一人一人の「目標」や「めあて」を明確にして授業準備や環境をしっかり整えて、具体的でわかりやすい授業づくりに努めなければなりません。児童・生徒一人一人が授業を楽しみ「わかった」「できた」といった喜びや達成感を味わい、そのことを積み重ねることにより、学習に向かう態度が育つと考えます。成功体験は、学習に対する意欲や自信を育て、積極性そして、責任感を含めて、自己肯定感を高め、さらに社会において協力・協調し、社会に貢献する力に繋がっていくと考えます。

児童・生徒一人一人の主体的な学習の取り組みは、学校を卒業し社会人になっても「学び続ける力」となり、課題に対する本人の「意思決定」の基礎の力となります。そして、将来にわたって自分で課題を解決する「生きる力」そして、「生き続ける力」が育まれると思います。

私が管理職となり初めて赴任した学校で、山田監督とお会いできたことは、私の教職人生のよき思い出となっています。また、色紙に書いていただいた言葉は、教育に携わる者として、いつまでも大切にしたい言葉となりました。

教育相談員 馬籠 裕二